

■ 大正13年設置、1世紀の歴史と展望を語る ■

25日に文学部100周年記念シンポジウムを実施

～ 基調講演は竹内洋名誉教授「葦の髄からの『文学部』論」～

このたび関西大学では、文学部100周年記念シンポジウムを、5月25日（土）13:30から、千里山キャンパスにて実施します。文学部に所縁ある登壇者により、歴史を振り返りながら、これからの文学部の展望を描きます。

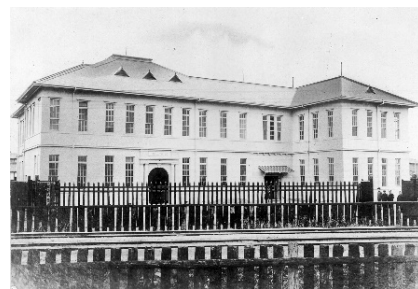
本件のポイント

- ・関西大学文学部が1924年の「文学部」設置から100周年を迎え、25日に記念シンポジウムを実施
- ・卒業生は約5万4,000人。いまま毎年800人近い新入生を迎え続ける
- ・基調講演に続き、4名の名誉教授の話題提供およびパネルディスカッションで文学部の展望を語る

多賀太文学部長による挨拶の後、芝井敬司理事長、前田裕学長、河田悌一東京センター長による挨拶があり、竹内洋名誉教授による基調講演「葦の髄からの『文学部』論」を実施。柏木治名誉教授、中谷伸生名誉教授、米田文孝名誉教授、山本冬彦名誉教授4名による話題提供およびパネルディスカッションも行われ、この30年を中心に語るとともに、未来への展望を描く機会となります。

文学部は駐日仏大使で詩人・劇作家として知られるポール・クローデルの勧めを受け、1924年（大正13年）に専門部に文学部が設置されたのが起源。複数学科を擁する時代を経て、2004年に1学科多専修となりました。また、1970年代に極彩色壁画の発見で注目された奈良県明日香村の高松塚古墳の発掘調査を担い、考古学調査研究で全国に名前が知られるなど、多彩な分野での研究成果で知られています。これまで送り出した卒業生は約5万4,000人で、2024年度は新入生約800人を迎えました。

創設100周年を記念した活動としては、本シンポジウムのほか、文学部100年の歩みを示す関西大学博物館で記念展示「花開く大阪の文化」を5月31日（金）まで開催しています。



<開講当時の福島学舎（1924年）>



<現在の第1学舎（2024年）>

<関西大学文学部100周年記念シンポジウム>

- 【日時】5月25日（土）13:30～16:30
- 【場所】関西大学千里山キャンパス第1学舎1号館千里ホール（大阪府吹田市山手町）
- 【入場料】無料

<文学部創設100周年・博物館開設30周年記念展示「花開く大阪の文化」>

- 【展示期間】4月7日（日）～5月31日（金）
- 【場所】関西大学博物館（大阪府吹田市山手町）
- 【入館料】無料

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：伊地知、小林、明原 *写真提供可能

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp